

令和7年3月吉日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校長 和田 直樹

令和6年度の改善方策に基づく改善結果について

1 宿題やe-ラーニングを活用した家庭学習の指導の充実

「家庭学習をしている」の生徒の肯定的評価は61.2%、「塾で学習している」の生徒の評価は65.3%、3年生の塾学習は81.5%でした。「家庭学習をしている」の保護者の肯定的評価は46.6%、「タブレット端末を適切に活用して学習をしている」の肯定的評価は57.1%の数値を見ると、家庭学習の指導の充実が図られていなかった。今後はN I E教育を家庭内でも行う教材を工夫する。

2 キャリア・パスポート等を活用した、早期からの（1年生への）指導の充実

1年生については3学期に実施していた校外学習を止めました。今年度は職業講話を行いました。生徒が自分自身の学びの過程を振り返り、職業や生き方を考えられるようなカリキュラム・デザインを推進できた。

各学年においてキャリア・パスポートを活用することで、意図的・計画的に教育相談や三者面談において将来への展望をもたせるなど指導の充実を図ることができた。

一方で、2年生の「キャリア・パスポートに書いた目標について考えて行動している」の項目では39.7%と低かった。2年生から進路や将来の仕事について考えさせる働きかけを強化させていく。

3 「学び舎」を活用した近隣小学校・幼稚園・保育園との連携の強化

「学び舎」の研修会を通して、各校の教員の授業を参観し研究協議を行うことで、学習面における、論理的な思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育み、自己の成長を確認できる確かな学力を身に付けることができた。

話し合い活動を月1～2回木曜日の放課後に取り入れることで、物事を深く考え、自分のことばで表現できるコミュニケーション能力を高めることができた。来年度は、日本語週間を年3回実施しさらなる充実を図る。

地域も含めた総合防災訓練を実施することができた。しかし子どもたちも一緒に参加する形はできなかった。災害時に保幼小中それぞれの発達段階における望ましい行動ができるような計画を模索していく。

「学び舎」でのあいさつ運動を通して子どもたちとの係わりはできた。来年度は合唱コンクールのリハーサルに小学生を招き、中学生の歌声を披露することを計画している。また、職場体験において、幼稚園や保育園での体験を計画している。